

# 学校経営推進費 事業計画書

## 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立泉北高等学校
取り組む課題	キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国内外大学の総合型選抜（A0 入試・多目的評価入試等）合格者数</li> <li>② 図書館における地域プロジェクト会議開催回数</li> <li>③ 課題研究における文献検索・グループワーク、アクティブ会議スペースとしての図書館活用回数</li> <li>④ 年間図書館利用者数、年間図書貸出数</li> </ul>
計画名	SHARE-BRARY プロジェクト ～SDGs 未来高校をめざして～

## 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 新しい時代のキャリア教育</p> <p>ア 課題研究等の取組みを通して「自ら課題を見つけ、調査・研究し、分析・考察を行う」能力と「知り得た知識や情報を他の者にうまく伝える」能力の育成を図る。</p> <p>イ 国内大学のグローバル化、海外の大学への進学ニーズに対応するとともに、A0 入試や総合型選抜（課題研究、長期・短期留学論文等）への対応を図る。</p> <p>エ 地域での体験的活動や外部機関との連携等を通して、今後の社会形成に積極的に関わろうとする意欲の醸成を図る。</p> <p>4 開かれた学校づくり</p> <p>（1） 地域と連携し、「地域の教育拠点」としての機能を果たす。地元堺市が SDGs 未来都市であることを踏まえ、SDGs の No11「住み続けられる街づくりを」の具現化に取り組む。</p> <p>イ 堺市社会福祉協議会及び地元自治会、地元企業、NPO 法人等との連携を深め、各種イベントや社会貢献活動等への積極的な参加をめざす。</p>	
事業目標	<p>図書館という閉鎖的な空間をオープンにし、地域住民を含む誰もが利用できる図書館づくりを推進する。生徒の年間利用回数や読書冊数の引き上げを図るとともに、いつでも探究活動、読書、コミュニケーション、フィールドワークを行うことができるコミュニティスペースとし、この場をベースに生徒が身につけた能力を活かした大学の総合型選抜において、合格者増を図る。</p> <p>また堺市と連携し、地元の児童・学生や地域住民が参加する「国際会議」や「プロジェクト会議」を開催し、SDGs の No11「住み続けられる街づくりを」の具現化に取り組むことを通して、地域の「教育拠点校」としての機能・役割を果たし、「SDGs 未来高校」の称号を獲得する。</p>	
取 組 み の 概 要	整備する 設備・物品	<p>図書館スペースのリノベーションに係る設備・物品</p> <p>本棚、フローリング張替、照明設備</p> <p>透明アクリル板を使用した探究活動及びプロジェクト会議用スペース</p>
	取 組 内 容	前 年 度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 図書情報部と広報部を統合して図書広報部を発足。くつろぎスペースを作り来館者の獲得を試みた。</li> <li>② 探究的な活動（課題研究）の充実を図るとともに、取組みの記録についても指導し、その成果を進路実現に結び付ける進路指導を実施してきた。</li> <li>③ SGH 事業（H27～R1）により学校のグローバル化を急進。堺市社会福祉協議会、地元自治体及び NPO 団体、地域の民間企業との連携を深め、協働機会が増加した。</li> </ul>

	初年度	<p>(通年) 図書広報部による HP での Sharebrary 広報活動、読書習慣の強化</p> <p>(7月) 地域との連携強化 (11月) 課題研究による活用</p> <p>(1月) Sharebrary ガイダンス職員研修、プロジェクト会議ボルネオ・カナダ海外研修事前研修</p> <p>(2月) ビブリオバトル (3月) SDGs 研修、Sharebrary 活用実践報告会</p>
	2年め	<p>(通年) 地域連携(泉北ニュータウン活性化プロジェクト)会議(5-10回)、Sharebrary プロジェクト会議(3回)、図書広報部による HP での Sharebrary 広報活動、読書習慣の強化</p> <p>(4月) 課題研究における Sharebrary 活用実践研修、全学年生徒に Sharebrary ガイダンス→以降実践活用</p> <p>(5月~7月) プロジェクト会議ボルネオ・カナダ海外研修事前研修</p> <p>(9月) 国際会議</p> <p>(11月・1月) 課題研究による活用</p> <p>(2月) ビブリオバトル (3月) Sharebrary 活用実践報告会</p>
	3年め	<p>(通年) 地域連携(泉北ニュータウン活性化プロジェクト)会議(5-10回)、Sharebrary プロジェクト会議(3回)、図書広報部による HP での Sharebrary 広報活動、読書習慣の強化</p> <p>(4月) 課題研究における Sharebrary 活用実践研修、全学年生徒に Sharebrary ガイダンス→以降実践活用</p> <p>(5-7月) プロジェクト会議ボルネオ・カナダ海外研修事前研修</p> <p>(9月) 国際会議</p> <p>(11月・1月) 課題研究による活用</p> <p>(2月) ビブリオバトル</p> <p>(3月) Sharebrary 活用実践報告会、Sharebrary Café プロジェクト始動</p>
	取組みの 主担・ 実施者	<p>企画運営： 課題検討委員会(校長・教頭・首席・科長・教務主任・進路指導主事)</p> <p>図書広報部(部長+7名) 探究委員会(探究主担+10名)</p> <p>実施者： 全教員</p>
成果の 検証方法 と 評価指標	初年度	<p>① 探究活動(課題研究)の成果を活かし、大学の総合型選抜の合格者を20名以上に増やす。 【昨年度18名】</p> <p>② 国際会議・プロジェクト会議を3回以上開催する。</p> <p>③ 探究活動・プロジェクト会議・国際会議・自習空間のための共有スペースとして活用することで図書館来館者を3,000名以上に増やす。【昨年度1,720名(1日平均約11名)】</p> <p>④ 読書習慣を定着させ、図書貸出し冊数を1,000冊以上に増やす。【昨年度654冊(生徒一人当たり約0.8冊)】</p>
	2年め	<p>① 大学の総合型選抜合格者：25名以上</p> <p>② 国際会議・プロジェクト会議の開催：4回以上</p> <p>③ 図書館来館者：3,500名以上 図書貸し出し冊数：1,500冊以上</p>
	3年め	<p>① 大学の総合型選抜合格者：30名以上</p> <p>② 国際会議・プロジェクト会議の開催：5回以上</p> <p>③ 図書館来館者：4,000名以上 図書貸し出し冊数：2,000冊以上</p> <p>④ 地元堺市より「SDGs 未来高校」の称号を得る。</p>